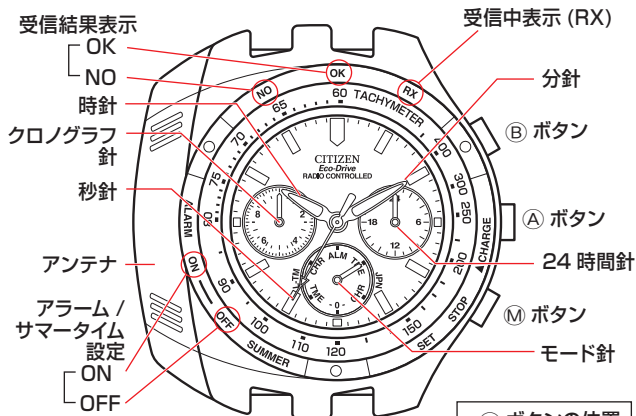


9457 簡易操作ガイド

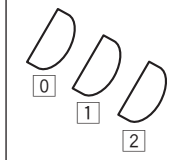
・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。

各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。
- ・スケールやベゼルなど外装機能についての詳細は、弊社ホームページ (<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>) も併せてご覧ください。

M ボタンの位置



モードを切り替える

6つのモード、[TME (JPN)] (時刻)、[CHR (JPN)] (クロノグラフ)、[▶0◀] (基準位置修正)、[TME (L-TM)] (ローカルタイム)、[CHR (L-TM)] (ローカルタイムクロノグラフ)、[ALM] (アラーム) を切り替えます。

1. **M ボタンをくり返し押す**
モード針が、現在のモードを表示します。

電波受信の結果を確認する

- ・この時計は、日本(福島局)の標準電波を毎日午前2時から午前4時30分の間に受信し、時計を自動で合わせます。
- ・九州局の電波は受信できません。ご注意ください。

1. **M ボタンをくり返し押して、モードを [TME (JPN)] にする**
2. **B ボタンを押す**
秒針が動き、前回の電波の受信結果を指します。

表示	受信結果
OK	受信に成功しました
NO	受信に失敗しました

- ・約 10 秒すると、自動で現在の時刻に戻ります。
- ・受信に失敗している場合は、「電波を手動で受信する (強制受信)」の手順に従い、電波受信をしてください。

電波を手動で受信する (強制受信)

・受信が完了するまでに、2分から13分程かかります。

1. **M ボタンをくり返し押して、モードを [TME (JPN)] にする**
2. **B ボタンを、ピッと確認音が鳴るまで押す**
秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。
 - ・受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。
 - ・受信に成功した場合：ピッピッという確認音が鳴り、修正された時刻が表示されます。
 - ・受信に失敗した場合：ピッという確認音が鳴ります。時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。
 - ・受信を中断したいときは、A ボタンか B ボタンを1秒間以上押します。
 - ・受信中にモードを切り替えると、受信は中断されます。

ローカルタイムを設定する

他の地域の時刻を表示することができます。

- ・[TME (JPN)] の時刻を基準に、1時間単位で時刻を設定できます。

1. **M ボタンをくり返し押して、モードを [TME (L-TM)] にする**
2. **M ボタンの位置を ① または ② にする**
3. **A ボタンまたは B ボタンを押して、時針をローカルタイムの時刻に合わせる**
・24時間針を見て、午前/午後を間違えないよう注意します。
4. **M ボタンの位置を ① にして、終了する**

サマータイムを設定する

[TME (JPN)]、[TME (L-TM)] の各モードで、サマータイムが設定できます。

サマータイムの設定を確認する

1. **M ボタンをくり返し押して、モードを [TME (JPN)] または [TME (L-TM)] にする**
2. **A ボタンを押す**
秒針がサマータイムの設定を示します。

表示	設定
OFF	標準時刻が表示されています。
ON	サマータイムが表示されています。

サマータイムの設定を切り替える

1. **M ボタンをくり返し押して、モードを [TME (JPN)] または [TME (L-TM)] にする**
2. **A ボタンを2秒間以上押し続ける**
確認音が鳴り、サマータイムの設定が切り替わります。

時刻を手動で合わせる

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを [TME (JPN)] にする
2. **M** ボタンの位置を **1** または **2** にする
秒針が 0 秒を指して停止します。
3. **A** ボタンまたは **B** ボタンを押して、時刻を合わせる
 - ・ボタンを押し続けると、針が連続して動きます。
 - ・24 時間針を見て、午前 / 午後を間違えないよう注意します。
4. 時報に合わせて、**M** ボタンの位置を **0** にする
秒針が動きはじめます。
 - ・ローカルタイム ([TME (L-TM)]) の時刻は、[TME (JPN)] の時刻に合わせて自動的に変わります。

クロノグラフを使う

- ・1/20 秒単位、最大 60 分まで計測できます。
 - ・時計、分針、24 時間針は、[CHR (JPN)] のときは [TME (JPN)] の時刻を示します。[CHR (L-TM)] のときは、[TME (L-TM)] の時刻を示します。
 - ・クロノグラフ使用中は、秒針がクロノグラフ秒を示します。クロノグラフ針は、最初の 1 分はクロノグラフ 1/20 秒を示し、それ以降はクロノグラフ分を示します。
 - ・計測中にモードを切り替えると、クロノグラフはリセットされます。
1. モードを [CHR (JPN)] または [CHR (L-TM)] にする
スタート/ストップ: **B** ボタンを押します。
 - ・ストップ中に **A** ボタンを押すと、押し続ける間、クロノグラフ針がクロノグラフ 1/20 秒を表示します。ボタンを放すと、クロノグラフ分の表示に戻ります。
 リセット: ストップ中に、**B** ボタンを 2 秒間以上押し続けます。
- ・クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TME (JPN)」または「TME (L-TM)」にします。

アラームを使う

[TME (JPN)]、[TME (L-TM)] の各モードで使用できます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを [ALM] にする
2. **M** ボタンの位置を **1** または **2** にする
秒針が「ON」を指し、アラームが ON になります。
3. **A** ボタンまたは **B** ボタンを押して、アラーム時刻を設定する
 - ・ボタンを押し続けると、針が連続して動きます。
 - ・24 時間針を見て、午前 / 午後を間違えないよう注意します。
4. **M** ボタンの位置を **0** にする
5. モードを、アラームを鳴らしたいモードにして、終了する
 - ・選んだモードでアラーム設定時刻になると、アラームが鳴ります。
 - ・モードが [ALM]、[▶ 0 ◀] のときは、アラームは鳴りません。

アラームの ON/OFF を切り替えるには

[ALM] モードで **A** ボタンを押します。

アラーム音をとめる

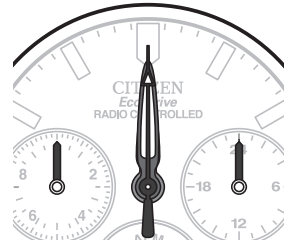
- ・**A** ボタンまたは **B** ボタンを押します。
- ・アラーム音は、約 15 秒間鳴ります。

アラーム音を確認する

[ALM] モードで **B** ボタンを押し続けます。

基準位置を確認する

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを [▶ 0 ◀] にする
各針が動き、現在の基準位置を表示します。
 - ・針が動いている間は、操作をすることはできません。
 - ・正しい基準位置:
モード針以外のすべての針:
12 時位置



現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

2. モードを戻して、確認を終了する

基準位置を修正する

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを [▶ 0 ◀] にする
2. **M** ボタンの位置を **1** にする
3. **A** ボタンを押して、秒針を 12 時位置に合わせる
 - ・ボタンを押し続けると、針が連続して動きます。
4. **B** ボタンを押して、クロノグラフ針を 12 時位置に合わせる
 - ・ボタンを押し続けると、針が連続して動きます。
5. **M** ボタンの位置を **2** にする
6. **A** ボタンまたは **B** ボタンを押して、時計、分針、24 時間針を 12 時位置に合わせる
 - ・ボタンを押し続けると、針が連続して動きます。
 - ・時計、分針、24 時間針は連動します。
7. **M** ボタンの位置を **0** にして、終了する